

無病息災を願って 空手少年団寒稽古披露

1月8日(日)、上ノ国八幡宮にて上ノ国町空手スポーツ少年団が寒稽古を行い、幼児から大人まで約20人が参加しました。

寒稽古とは、屋外で稽古をすることです。心身を鍛えるとともに、神前で稽古を披露することで今年1年の無病息災を願うという稽古であり、上ノ国町空手スポーツ少年団では毎年、新年の稽古始めの前に行っています。

団員たちは、参道に2列に並び、本殿に向かって気迫あふれる掛け声に合わせて、キレのある力強い突きを披露しました。



冬にできない体験 スキー・スノーボード教室

1月5日(木)から湯ノ岱スキー場が開設され、スキー教室とスノーボード教室が開催されています。

1月17日(火)のスキー教室では、上級者と初心者でチームが分けられ、上級者の子どもたちは綺麗なシュプールを描きながら颯爽とゲレンデを滑り降りていました。

初心者の子どもたちは、まずコーチに手を引かれながらスキー板をハの字にして斜面を滑る体験をし、その後コーチの手を借りず少しずつ滑る練習をしました。

この日は天気もよく、皆思い思いの滑りができました。



豪華景品当たりましたか どきどき抽選会

上ノ国町商工会が主催する、どきどき抽選会が開催され、約27万円の応募の中から1、020本が当選しました。

11月1日(火)から12月31日(土)までの間、町内の60事業所で買い物客などを対象に抽選券の配布が行われ、12月8日(木)と1月12日(木)に当選者の抽選が行われました。

景品は上ノ国町共通商品券のほか、根ボツケなど様々な町産食材の詰め合わせが用意されました。商工会では今後も、町経済の活性化に繋がる活動をしていくとのことです。



もんじゅの水槽もいっぱい エビが漁好調

上ノ国沖でのエビかご漁が1月から始まりました。

エビかご漁では、シマエビやボタンエビなどが水揚げされ、選別作業や梱包作業を経て、手早く出荷されています。

1月中旬時点での漁獲量は例年に比べ約17%増加しており、4月上旬まで続くエビかご漁がさらに豊漁となることが期待されます。

道の駅上ノ国もんじゅの物産販売所では、活エビの販売が4月下旬まで予定されており、活エビのぷりぷりの食感を春先まで味わうことができます。

